

「医薬品供給状況にかかる調査（2025年1月）」について

2025年2月

日本製薬団体連合会

安定確保委員会

はじめに

日薬連として、2022年5月より、「医薬品供給状況にかかる調査」（以下、本調査）を3か月に1回のペースで実施し、その結果を公表していますが、依然として多くの医薬品に供給不安が生じ、医療機関・薬局では必要な医薬品の入手が困難な状況が続いています。

この状況を改善すべく、2023年4月からは、厚生労働省と連携し、本調査の調査頻度を3か月に1回から毎月調査へ変更するとともに、調査項目の見直しと追加を行いました。また、8月調査、9月調査では、より適切な情報を提供するため一部項目を見直し、12月調査では公表情報の追加を行っています。

さらに、2024年4月からは、供給情報の速やかな医療機関への共有を目的に、製造販売企業の皆様には、日薬連の「医薬品供給状況にかかる調査」に加えて、供給情報の速やかな医療機関への共有を目的に厚生労働省の「供給状況報告」にもご対応いただいています。これにともない本調査は2月調査より、4月から厚生労働省が求める「供給状況報告」の内容を反映したものとなっています。

本調査の概要

調査概要（2025年1月調査）

○調査期間／公表

2025年1月29日（水）～2025年2月7日（金）／2025年2月17日（月）

○調査対象

2025年1月末時点で薬価収載されている全ての医薬品

○調査内容

製造販売業者の「出荷対応」の状況

限定出荷／供給停止の理由

限定出荷の解除見込み／供給停止の解消見込み

製造販売業者の「出荷量」の状況

製造販売企業の供給情報に関するHPのURL など

○公表方法

日薬連ホームページ（<http://www.fpmaj.gr.jp/>）上に一覧で掲載（excel）

※各品目の最新の供給状況につきましては、当該企業のホームページ等でご確認下さい。

本調査の調査項目（１）

○製造販売業者の「出荷対応」の状況

- ①通常出荷 : 全ての受注に対応できている、かつ十分な在庫量が確保できている状況^{*1}
- ②限定出荷（自社の事情） : 自社の事情（原料調達先、製造委託先を含む）により、全ての受注に対応できない状況^{*2}
- ③限定出荷（他社品の影響） : 他社品の影響等にて、全ての受注に対応できない状況
- ④限定出荷（その他） : その他の理由^{*3}にて、全ての受注に対応できない状況
- ⑤供給停止 : 供給を停止している状況

*1：平時には需要がないか極めて需要が少ないため常時出荷はしていないが、受注があれば対応できる品目についても該当

*2：全ての受注に対応できない状況とは、新規顧客の注文や増量受注の辞退など

*3：その他の理由とは、感染症の流行拡大による一過性の需要過多、ここ数年急激な需要の変動がある品目の一過性の需要過多、災害等による被害など

○限定出荷／供給停止の理由

1. 需要増：

同一成分規格の他社品の影響で自社品の需要が増加している場合、
感染症の流行拡大による一過性の需要過多などで予測を上回る需要となっている場合 など

2. 原材料調達上の問題：

原材料（原薬、天然由来原料、生物由来原料、添加物、容器、包装資材など）の不足や調達遅延が生じている場合 など

3. 製造トラブル（製造委託を含む）：

工場の設備・機器・システム問題で製造が停止している場合、工場の人員不足による影響で製造遅延が生じている場合 など

4. 品質トラブル（製造委託を含む）

品質不良が判明し、出荷に影響が出ている場合、不良品の廃棄や回収を行っている場合 など

5. 行政処分（製造委託を含む）：

薬機法等関係法令違反により行政処分を受けたことがきっかけとなっている場合

6. 薬価削除

※製造販売業者の「出荷量」の状況で「D. 薬価削除予定」を選択した場合のみ選択可能

7. -

※製造販売業者の対応状況で「①通常出荷」を選択した場合

8. その他の理由

※1.～7. のいずれにも当てはまらない場合

- ※「製造トラブル（製造委託を含む）」「品質トラブル（製造委託を含む）」が行政処分に至っている場合は「5. 行政処分（製造委託を含む）」を選択
- ※行政処分がきっかけとなって判明した「製造トラブル（製造委託を含む）」「品質トラブル（製造委託を含む）」（製造方法等の変更が必要な場合を含む）の場合も「5. 行政処分（製造委託を含む）」を選択
- ※行政処分を受けたことを契機として、当該品目の製造工場の稼働が低下し、当該品目を「限定出荷」、「出荷停止」せざるを得なくなった場合も「5. 行政処分（製造委託を含む）」を選択

本調査の調査項目（２）

○限定出荷の解除見込み／供給停止の解消見込み

- ア. あり
- イ. なし
- ウ. 未定
- エ. -

○限定出荷の解除見込み時期／供給停止の解消見込み時期／販売中止品目の在庫消尽時期

具体的な時期を記載（例：2025年2月）

○製造販売業者の「出荷量」の状況

- Aプラス. 出荷量増加** : 比較対象期間の出荷量※¹ 又は市場予測による予定出荷量※² の概ね110%以上の出荷状況
- A. 出荷量通常** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね90%以上110%未満の出荷状況
- B. 出荷量減少** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね90%未満の出荷状況
- C. 出荷停止** : 市場に出荷していない状況
- D. 薬価削除予定** : 「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況
(既に薬価削除の承認が得られている状況)

※1 比較対象期間の出荷量（比較出荷量）は、原則前年度（4月～3月）の月平均出荷量

※2 季節による需要変化が大きい品目、ここ数年急激な需要の変動がある品目、新規収載品目などについては、それぞれの品目の市場予測による予定出荷量とするなど実態に則して判断

本調査の調査項目（3）

○報告日／情報更新日

提出する情報を更新した具体的な日付を品目ごとに記載（例：2025年2月5日）

○当月掲載情報確認済み

今回の提出にあたって製造販売業者として記載内容を確認したことを示す「○」を選択

○「限定出荷／供給停止の理由」で「1. 需要増」、「8. その他の理由」を選択した場合の理由（非公開）

- ・ 製造キャパシティ : 製造能力が限られる。
- ・ 採算性 : 製造原価、薬価等の点で採算性が厳しい。
- ・ 医療上の優先度判断 : 製造上の優先度が下がっていると判断している
(より医療上の必要性が高い品目（安定確保医薬品等）への対応を優先して実施している)。
- ・ 需要減 : 市場での需要が減少し、販売数量が減少している
(供給停止の場合のみ選択可。限定出荷の場合は選択不可)。
- ・ その他 : 上記のいずれでもない理由

※ 複数選択可、当てはまるものすべてに「○」を選択

※ 需要減は需要増の場合選択不可（理由として矛盾するため）

※ 選択した理由については、非公開であり、回答内容は当局（及び集計委託業者）のみが扱い、匿名化された集計情報とした上で公表します。
供給不安解消に向けた対策を検討するための重要な情報ですので実態通りご回答いただきますようお願い致します。

○上記の理由について具体的に記入（その他についても具体的に記入）（非公開）

○薬価基準収載品目削除願の提出年月（非公開）／その他、製販として記載したいことを記載（非公開）



MEDICAL INFO

医療関係者の皆様へ

ホーム > 医療関係者の皆様へ > 医薬品供給状況にかかる調査結果

医薬品供給状況にかかる調査結果

調査結果

- 厚生労働省 医政局経済課長 関連通知
- 厚生労働省 医政局医薬産業振興・医療情報企画課長 関連通知
- 厚生労働省 医療用医薬品供給状況サイト（2024年4月1日以降）[🔗](#)

掲載年月	調査について	調査結果	成分規格リスト
2024年10月	pdf	xlsx	xlsx
2024年9月	pdf	xlsx	xlsx
2024年8月	pdf	xlsx	xlsx

本調査の公表内容

- 医療機関・薬局・卸売販売業者の皆様には、excel一覧の「成分」、「規格」、「製造販売承認企業」、「製品名」を選択いただくことで、確認したい医薬品の供給状況をご確認いただけます。
- 製造販売業者の皆様には、他社品の影響によって限定出荷を行っている自社品の「成分」、「規格」を選択いただくことで、通常出荷移行の判断情報としてご活用いただけます。

①薬剤区分	③成分名	④規格単位※全角	⑤Yコード	⑥品名（承認所に記載の正式名称）※全角	⑦製造販売会社名	⑧製品区分	⑨基礎的医薬品	⑩安定性医薬品	記号	当該成分規格の通常出荷 品目数割合	⑫製造販売業者の 「出荷対応」の状況	⑬限定出荷/供給停止の理由	⑭限定出荷の解除見込み／ 供給停止の解消見込み	⑮限定出荷の解除見込み時期／ 供給停止の解消見込み 販売中止品目の在庫消尽時期	⑯製造販売業者の 「出荷量」の状況
内用薬	d-リーゾプレナリン塩酸塩	7, 5 mg 1 カプセル	1339001N1039	インメニールカプセル7, 5 mg	科研	先発品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	d-リーゾプレナリン塩酸塩	1 5 mg 1 錠	2119002G1035	プロタノールS錠1 5 mg	興和	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩	1 0 % 1 g	2221003B2067	メチエフ散1 0 %	ニプロESファーマ	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩	1 0 % 1 g	2221003B2083	メチルエフェドリン散1 0 % 「フソー」	扶桑	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩	1 0 % 1 g	2221003B2180	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩散1 0 % 「マルイシ」	丸石	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	①通常出荷	7, ー	エ, ー		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩	1 0 % 1 g	2221003B2199	d-リーメチルエフェドリン塩酸塩散1 0 % 「メタル」	中北	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下					
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	1 % 1 g	4419002B1033	ボララミン散1 %	高田	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	8, その他の理由	ウ, 未定	ー	B, 出荷量減少
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2 mg 1 錠	4419002F1027	ボララミン錠2 mg	高田	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	8, その他の理由	ア, あり	2024年8月1日	B, 出荷量減少
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2 mg 1 錠	4419002F1043	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸錠2 mg 「武田テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	6, 薬価削除	エ, ー		D, 薬価削除予定
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2 mg 1 錠	4419002F1051	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸錠2 mg 「N I G」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定	2023/12/6発売	A, 出荷量通常
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	6 mg 1 錠	4419002G1120	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸錠6 mg 「武田テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	6, 薬価削除	エ, ー		D, 薬価削除予定
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 0 4 % 1 0 m L	4419002Q1095	ボララミンシロップ0, 0 4 %	高田	準先発品			○	通常出荷割合50 %超100 %未満	①通常出荷	7, ー	エ, ー	ー	A, 出荷量通常
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 0 4 % 1 0 m L	4419002Q1125	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0, 0 4 % 「トーワ」	東和薬品	後発品			○	通常出荷割合50 %超100 %未満	②限定出荷（自社の事情）	8, その他の理由	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 0 4 % 1 0 m L	4419002Q1133	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0, 0 4 % 「日新」	鶴原	後発品			○	通常出荷割合50 %超100 %未満	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 0 4 % 1 0 m L	4419002Q1141	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0, 0 4 % 「日新」	日新製薬	後発品			○	通常出荷割合50 %超100 %未満	①通常出荷	7, ー	エ, ー		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-ークロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0, 2 % 1 g	4419002R1031	ボララミンドライシロップ0, 2 %	高田	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	8, その他の理由	ウ, 未定	未定	B, 出荷量減少
内用薬	D-ソルビトール	6 5 % 1 0 m L	7990001S2031	D-ソルビトール内用液6 5 % 「マルイシ」	丸石	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	D-ソルビトール	7 5 % 1 0 m L	7990001S3054	D-ソルビトール経口液7 5 % 「コーワ」	興和	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カリウム	5 0 % 1 g	3229005B1038	アスパラカリウム散5 0 %	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カリウム	3 0 0 mg 1 錠	3229005F1080	アスパラカリウム錠3 0 0 mg	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	3, 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カリウム	3 0 0 mg 1 錠	3229005F1102	Ｌ-アスパラギン酸K錠3 0 0 mg 「アメル」	共和薬品	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	8, その他の理由	イ, なし		C, 出荷停止
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カリウム・Ｌ-アスパラギン酸マグネシウム	（1 5 0 mg）1 錠	3229102F1107	アスパラ配合錠	田辺三菱	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カルシウム	1 錠	3214001F1020	アスパラーC A錠2 0 0	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（自社の事情）	3, 製造トラブル（製造委託を含む）	ア, あり		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カルシウム	1 錠	3214001F1047	Ｌ-アスパラギン酸C a錠2 0 0 mg	沢井	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-アスパラギン酸カルシウム	1 錠	3214001F1063	Ｌ-アスパラギン酸C a錠2 0 0 mg 「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-アルギニン・Ｌ-アラニン塩酸塩	1 g	3999100D1037	アルギン配合顆粒	E Aファーマ	先発品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7, ー	エ, ー		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-エチルシステイン塩酸塩	1 0 0 mg 1 錠	2233001F1234	チスタニン糖衣錠1 0 0 mg	ニプロESファーマ	先発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 % 1 g	2233002C1089	カルボシステイン細粒5 0 % 「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	2, 原材料調達上の問題	イ, なし		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1174	ムコダイン錠2 5 0 mg	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1280	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「サワイ」	沢井	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1298	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1301	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	6, 薬価削除	エ, ー		D, 薬価削除予定
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1328	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「J G」	日本ジェネリック	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（その他）	1, 需要増	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1336	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「T C K」	辰巳	後発品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	3, 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1344	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	2, 原材料調達上の問題	イ, なし		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	2 5 0 mg 1 錠	2233002F1352	カルボシステイン錠2 5 0 mg 「N I G」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2022	ムコダイン錠5 0 0 mg	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2103	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「サワイ」	沢井	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2111	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2146	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「J G」	日本ジェネリック	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		B, 出荷量減少
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2154	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「T C K」	辰巳	後発品			×	通常出荷割合0 %	②限定出荷（自社の事情）	3, 製造トラブル（製造委託を含む）	ウ, 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2162	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0 %	⑤供給停止	2, 原材料調達上の問題	イ, なし		C, 出荷停止
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 0 0 mg 1 錠	2233002F2170	カルボシステイン錠5 0 0 mg 「N I G」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常
内用薬	Ｌ-カルボシステイン	5 % 1 m L	2233002Q1035	ムコダインシロップ5 %	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0 %	③限定出荷（他社品の影響）	1, 需要増	ウ, 未定		A, 出荷量通常

医薬品の供給状況（2025年1月）

供給状況の概要（全剤形）

- 全品目で「通常出荷以外」は**19.8%**、後発品では「通常出荷以外」は**25.9%**である。
- これらの中から**薬価削除予定品目を除く**と全品目で「通常出荷以外」は**14.2%**、後発品では「通常出荷以外」は**17.9%**であり（次頁参照）、前月の**14.0%**、**17.6%**から改善していない。

製造販売業者の対応状況

製造販売業者の 「出荷対応」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
通常出荷	13,558	80.2%	2,690	90.3%	1,158	88.3%	5,943	74.1%	3,767	82.2%	1,683	83.3%	3,953	77.6%	216	74	3,663
通常出荷以外	3,339	19.8%	288	9.7%	154	11.7%	2,082	25.9%	815	17.8%	338	16.7%	1,140	22.4%	70	39	1,031
限定出荷	1,824	10.8%	178	6.0%	102	7.8%	1,073	13.4%	471	10.3%	293	14.5%	656	12.9%	56	27	573
自社の事情	727	4.3%	79	2.7%	35	2.7%	403	5.0%	210	4.6%	117	5.8%	238	4.7%	20	10	208
他社品の影響	907	5.4%	74	2.5%	58	4.4%	564	7.0%	211	4.6%	152	7.5%	341	6.7%	33	16	292
その他	190	1.1%	25	0.8%	9	0.7%	106	1.3%	50	1.1%	24	1.2%	77	1.5%	3	1	73
供給停止	1,515	9.0%	110	3.7%	52	4.0%	1,009	12.6%	344	7.5%	45	2.2%	484	9.5%	14	12	458
合計	16,897	100%	2,978	100%	1,312	100%	8,025	100%	4,582	100%	2,021	100%	5,093	100%	286	113	4,694

製造販売業者の出荷量の状況

製造販売業者の 「出荷量」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
A.プラス.出荷量増加	3,524	20.9%	171	5.7%	88	6.7%	2,775	34.6%	490	10.7%	270	13.4%	1,211	23.8%	78	23	1,110
B.出荷量通常	10,140	60.0%	2,469	82.9%	978	74.5%	3,455	43.1%	3,238	70.7%	1,477	73.1%	2,879	56.5%	166	65	2,648
C.出荷量減少	1,194	7.1%	154	5.2%	166	12.7%	430	5.4%	444	9.7%	229	11.3%	355	7.0%	28	13	314
D.出荷停止	441	2.6%	45	1.5%	20	1.5%	229	2.9%	147	3.2%	33	1.6%	123	2.4%	3	6	114
E.販売中止	1,598	9.5%	139	4.7%	60	4.6%	1,136	14.2%	263	5.7%	12	0.6%	525	10.3%	11	6	508
合計	16,897	100%	2,978	100%	1,312	100%	8,025	100%	4,582	100%	2,021	100%	5,093	100%	286	113	4,694

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（16,897品目）について集計

※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品

※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

製造販売業者の「出荷対応」の状況（全剤形）

- 「薬価削除予定」品目は『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』である（既に薬価削除の承認が得られている状況）。これらの品目はそれ以外の品目とは状況が異なるため、製造販売業者の「出荷対応」の状況では分けて集計している。
- 「薬価削除予定」品目を除いた「薬価削除予定以外」では全品目で「通常出荷以外」は**14.2%**、後発品では「通常出荷以外」は**17.9%**であり、前月の**14.0%**、**17.6%**から改善していない。

全体

製造販売業者の「出荷対応」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
通常出荷	13,558	80.2%	2,690	90.3%	1,158	88.3%	5,943	74.1%	3,767	82.2%
通常出荷以外	3,339	19.8%	288	9.7%	154	11.7%	2,082	25.9%	815	17.8%
限定出荷	1,824	10.8%	178	6.0%	102	7.8%	1,073	13.4%	471	10.3%
自社の事情	727	4.3%	79	2.7%	35	2.7%	403	5.0%	210	4.6%
他社品の影響	907	5.4%	74	2.5%	58	4.4%	564	7.0%	211	4.6%
その他	190	1.1%	25	0.8%	9	0.7%	106	1.3%	50	1.1%
供給停止	1,515	9.0%	110	3.7%	52	4.0%	1,009	12.6%	344	7.5%
合計	16,897	100%	2,978	100%	1,312	100%	8,025	100%	4,582	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品					
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C	
1,683	83.3%	3,953	77.6%	216	74	3,663	
338	16.7%	1,140	22.4%	70	39	1,031	
293	14.5%	656	12.9%	56	27	573	
117	5.8%	238	4.7%	20	10	208	
152	7.5%	341	6.7%	33	16	292	
24	1.2%	77	1.5%	3	1	73	
45	2.2%	484	9.5%	14	12	458	
2,021	100%	5,093	100%	286	113	4,694	

薬価削除
以外

通常出荷	13,125	85.8%	2,620	92.3%	1,132	90.4%	5,657	82.1%	3,716	86.0%
通常出荷以外	2,174	14.2%	219	7.7%	120	9.6%	1,232	17.9%	603	14.0%
限定出荷	1,733	11.3%	174	6.1%	100	8.0%	1,003	14.6%	456	10.6%
自社の事情	659	4.3%	78	2.7%	35	2.8%	346	5.0%	200	4.6%
他社品の影響	892	5.8%	73	2.6%	57	4.6%	554	8.0%	208	4.8%
その他	182	1.2%	23	0.8%	8	0.6%	103	1.5%	48	1.1%
供給停止	441	2.9%	45	1.6%	20	1.6%	229	3.3%	147	3.4%
合計	15,299	100%	2,839	100%	1,252	100%	6,889	100%	4,319	100%

1,683	83.8%	3,813	83.5%	216	74	3,523	
326	16.2%	755	16.5%	59	33	663	
293	14.6%	632	13.8%	56	27	549	
117	5.8%	220	4.8%	20	10	190	
152	7.6%	338	7.4%	33	16	289	
24	1.2%	74	1.6%	3	1	70	
33	1.6%	123	2.7%	3	6	114	
2,009	100%	4,568	100%	275	107	4,186	

薬価削除
予定

通常出荷	433	27.1%	70	50.4%	26	43.3%	286	25.2%	51	19.4%
通常出荷以外	1,165	72.9%	69	49.6%	34	56.7%	850	74.8%	212	80.6%
限定出荷	91	5.7%	4	2.9%	2	3.3%	70	6.2%	15	5.7%
自社の事情	68	4.3%	1	0.7%	0	0.0%	57	5.0%	10	3.8%
他社品の影響	15	0.9%	1	0.7%	1	1.7%	10	0.9%	3	1.1%
その他	8	0.5%	2	1.4%	1	1.7%	3	0.3%	2	0.8%
供給停止	1,074	67.2%	65	46.8%	32	53.3%	780	68.7%	197	74.9%
合計	1,598	100%	139	100%	60	100%	1,136	100%	263	100%

0	0.0%	140	26.7%	0	0	140	
12	100%	385	73.3%	11	6	368	
0	0.0%	24	4.6%	0	0	24	
0	0.0%	18	3.4%	0	0	18	
0	0.0%	3	0.6%	0	0	3	
0	0.0%	3	0.6%	0	0	3	
12	100%	361	68.8%	11	6	344	
12	100%	525	100%	11	6	508	

薬価削除予定：「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況（既に薬価削除の承認が得られている状況）

（日薬連「医薬品供給状況にかかる調査（2025年1月）」）

剤形別の製造販売業者の「出荷対応」の状況（薬価削除予定品目を除外）

- 「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』である。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものはそれ以外の品目とは状況が異なるため、下記ではそれらを除いて集計している。

内用薬

外用薬

注射薬

製造販売業者の 「出荷対応」の 状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
通常出荷	8,582	86.8%	1,000	90.8%	779	90.4%	4,351	83.5%	2,452	90.5%
通常出荷以外	1,302	13.2%	101	9.2%	83	9.6%	860	16.5%	258	9.5%
限定出荷	986	10.0%	84	7.6%	67	7.8%	676	13.0%	159	5.9%
自社の事情	365	3.7%	30	2.7%	17	2.0%	246	4.7%	72	2.7%
他社品の影響	518	5.2%	39	3.5%	43	5.0%	372	7.1%	64	2.4%
その他	103	1.0%	15	1.4%	7	0.8%	58	1.1%	23	0.8%
供給停止	316	3.2%	17	1.5%	16	1.9%	184	3.5%	99	3.7%
合計	9,884	100%	1,101	100%	862	100%	5,211	100%	2,710	100%
通常出荷	1,732	85.0%	388	92.4%	164	88.6%	659	77.3%	521	89.8%
通常出荷以外	306	15.0%	32	7.6%	21	11.4%	194	22.7%	59	10.2%
限定出荷	266	13.1%	26	6.2%	19	10.3%	180	21.1%	41	7.1%
自社の事情	102	5.0%	15	3.6%	13	7.0%	57	6.7%	17	2.9%
他社品の影響	127	6.2%	9	2.1%	6	3.2%	90	10.6%	22	3.8%
その他	37	1.8%	2	0.5%	0	0.0%	33	3.9%	2	0.3%
供給停止	40	2.0%	6	1.4%	2	1.1%	14	1.6%	18	3.1%
合計	2,038	100%	420	100%	185	100%	853	100%	580	100%
通常出荷	2,811	83.2%	1,232	93.5%	189	92.2%	647	78.4%	743	72.2%
通常出荷以外	566	16.8%	86	6.5%	16	7.8%	178	21.6%	286	27.8%
限定出荷	481	14.2%	64	4.9%	14	6.8%	147	17.8%	256	24.9%
自社の事情	192	5.7%	33	2.5%	5	2.4%	43	5.2%	111	10.8%
他社品の影響	247	7.3%	25	1.9%	8	3.9%	92	11.2%	122	11.9%
その他	42	1.2%	6	0.5%	1	0.5%	12	1.5%	23	2.2%
供給停止	85	2.5%	22	1.7%	2	1.0%	31	3.8%	30	2.9%
合計	3,377	100%	1,318	100%	205	100%	825	100%	1,029	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品					
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C	
780	88.7%	2,299	85.8%	69	34	2,196	
99	11.3%	382	14.2%	4	3	375	
79	9.0%	299	11.2%	3	3	293	
28	3.2%	102	3.8%	3	2	97	
45	5.1%	164	6.1%	0	1	163	
6	0.7%	33	1.2%	0	0	33	
20	2.3%	83	3.1%	1	0	82	
879	100%	2,681	100%	73	37	2,571	
284	91.6%	275	81.8%	26	8	241	
26	8.4%	61	18.2%	0	0	61	
21	6.8%	56	16.7%	0	0	56	
14	4.5%	16	4.8%	0	0	16	
6	1.9%	28	8.3%	0	0	28	
1	0.3%	12	3.6%	0	0	12	
5	1.6%	5	1.5%	0	0	5	
310	100%	336	100%	26	8	302	
619	75.5%	1,239	79.9%	121	32	1,086	
201	24.5%	312	20.1%	55	30	227	
193	23.5%	277	17.9%	53	24	200	
75	9.1%	102	6.6%	17	8	77	
101	12.3%	146	9.4%	33	15	98	
17	2.1%	29	1.9%	3	1	25	
8	1.0%	35	2.3%	2	6	27	
820	100%	1,551	100%	176	62	1,313	

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（16,897品目）から薬価削除予定を除外した15,299品目について、製造販売業者の対応状況を剤形別に集計

※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品

※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

（日薬連「医薬品供給状況にかかる調査（2025年1月）」）

13

製造販売業者の対応状況（全剤形）（「販売中止」品目を除外）

- 「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』である。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものはそれ以外の品目とは状況が異なるため、下記ではそれらを除いて集計している。

製造販売業者		合計										(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
「出荷対応」の状況	「出荷量」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
		品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比							
通常出荷		13,125	85.8%	2,620	92.3%	1,132	90.4%	5,657	82.1%	3,716	86.0%	1,683	83.8%	3,813	83.5%	216	74	3,523
	出荷量増加	2,927	19.1%	144	5.1%	70	5.6%	2,297	33.3%	416	9.6%	228	11.3%	989	21.7%	62	19	908
	出荷量通常	9,331	61.0%	2,373	83.6%	920	73.5%	3,069	44.5%	2,969	68.7%	1,306	65.0%	2,579	56.5%	131	50	2,398
	出荷量減少	867	5.7%	103	3.6%	142	11.3%	291	4.2%	331	7.7%	149	7.4%	245	5.4%	23	5	217
限定出荷 (自社の事情)		659	4.3%	78	2.7%	35	2.8%	346	5.0%	200	4.6%	117	5.8%	220	4.8%	20	10	190
	出荷量増加	141	0.9%	4	0.1%	3	0.2%	113	1.6%	21	0.5%	12	0.6%	51	1.1%	6	0	45
	出荷量通常	261	1.7%	39	1.4%	12	1.0%	126	1.8%	84	1.9%	44	2.2%	84	1.8%	9	4	71
	出荷量減少	257	1.7%	35	1.2%	20	1.6%	107	1.6%	95	2.2%	61	3.0%	85	1.9%	5	6	74
限定出荷 (他社品の影響)		892	5.8%	73	2.6%	57	4.6%	554	8.0%	208	4.8%	152	7.6%	338	7.4%	33	16	289
	出荷量増加	369	2.4%	17	0.6%	14	1.1%	295	4.3%	43	1.0%	28	1.4%	132	2.9%	9	4	119
	出荷量通常	474	3.1%	45	1.6%	42	3.4%	233	3.4%	154	3.6%	108	5.4%	189	4.1%	24	11	154
	出荷量減少	49	0.3%	11	0.4%	1	0.1%	26	0.4%	11	0.3%	16	0.8%	17	0.4%	0	1	16
限定出荷 (その他)		182	1.2%	23	0.8%	8	0.6%	103	1.5%	48	1.1%	24	1.2%	74	1.6%	3	1	70
	出荷量増加	87	0.6%	6	0.2%	1	0.1%	70	1.0%	10	0.2%	2	0.1%	39	0.9%	1	0	38
	出荷量通常	74	0.5%	12	0.4%	4	0.3%	27	0.4%	31	0.7%	19	0.9%	27	0.6%	2	0	25
	出荷量減少	21	0.1%	5	0.2%	3	0.2%	6	0.1%	7	0.2%	3	0.1%	8	0.2%	0	1	7
供給停止		441	2.9%	45	1.6%	20	1.6%	229	3.3%	147	3.4%	33	1.6%	123	2.7%	3	6	114
	出荷停止	441	2.9%	45	1.6%	20	1.6%	229	3.3%	147	3.4%	33	1.6%	123	2.7%	3	6	114
製造販売業者の 「出荷量」の状況	出荷量増加	3,524	23.0%	171	6.0%	88	7.0%	2,775	40.3%	490	11.3%	270	13.4%	1,211	26.5%	78	23	1,110
	出荷量通常	10,140	66.3%	2,469	87.0%	978	78.1%	3,455	50.2%	3,238	75.0%	1,477	73.5%	2,879	63.0%	166	65	2,648
	出荷量減少	1,194	7.8%	154	5.4%	166	13.3%	430	6.2%	444	10.3%	229	11.4%	355	7.8%	28	13	314
	出荷停止	441	2.9%	45	1.6%	20	1.6%	229	3.3%	147	3.4%	33	1.6%	123	2.7%	3	6	114
	合計	15,299	100%	2,839	100%	1,252	100%	6,889	100%	4,319	100%	2,009	100%	4,568	100%	275	107	4,186

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（16,897品目）から薬価削除予定を除外した15,299品目について、製造販売業者の対応状況を集計

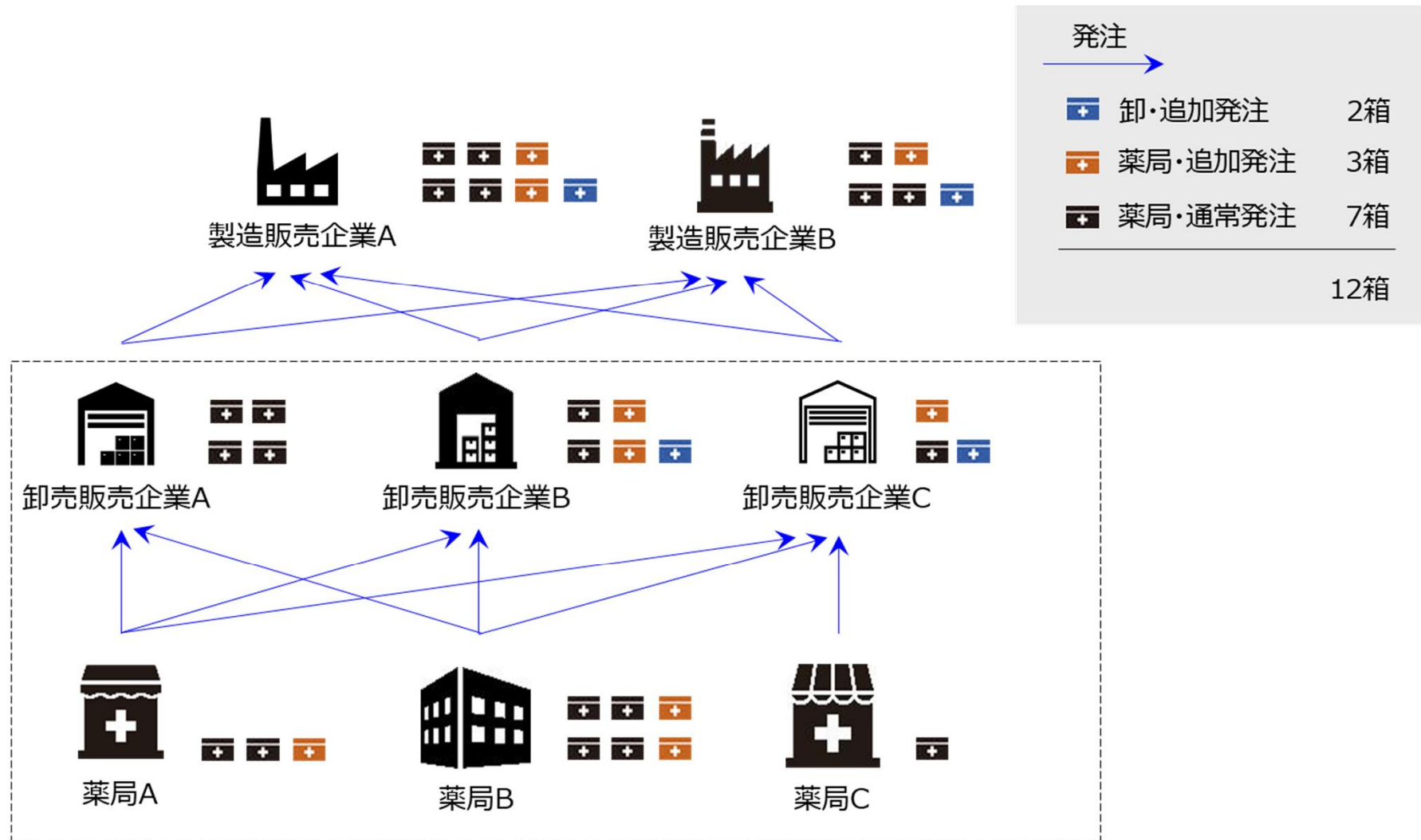
※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品

※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

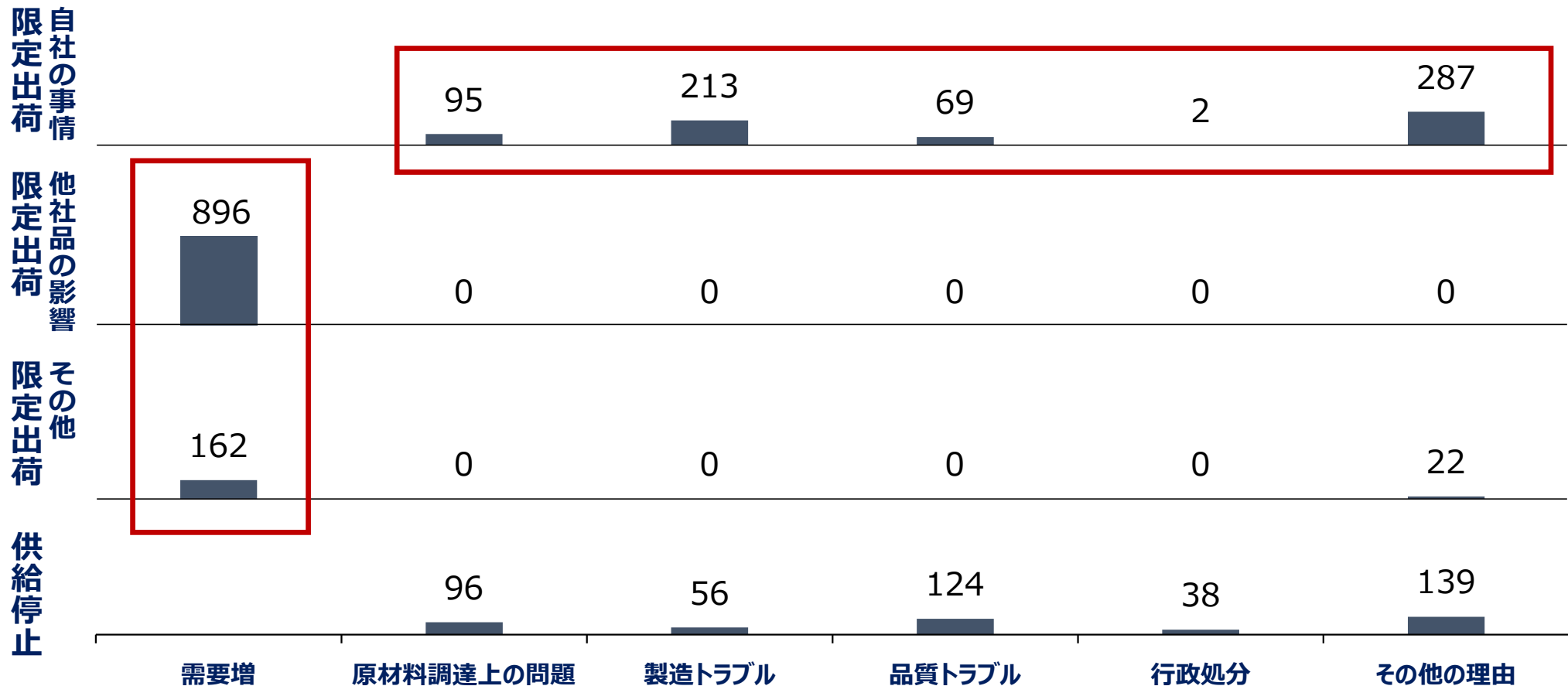
供給不安の一因

- 現在の医薬品の供給不足の中で、医療機関・薬局の発注量は実需要以上となっている（bullwhip effect）。
- このような中で製造販売企業は全ての受注に応える「通常出荷」が行えず、「限定出荷」が多く発生している。製造販売企業の「限定出荷」が解除されないことが供給不安が長期化する一因となっている。



製造販売企業の皆様へのお願い

- 自社の事情で「限定出荷」、「供給停止」している品目については、「通常出荷」となるよう一層の取り組みをお願い致します。
- 他社品の影響、その他（季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など）で「限定出荷」している品目については、次頁に示した「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格一覧を参考に増産対応、「限定出荷」解除の検討をお願い致します。



※全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（16,897品目）から薬価削除予定を除外した15,299品目について、限定出荷／供給停止の理由を集計

【需要増】同一成分規格の他社品の影響で自社品の需要が増加している場合、季節性製剤や一過性の需要過多などで予測を上回る需要となっている場合 など

【原材料調達上の問題】原材料（原薬、天然由来原料、生物由来原料、添加物、容器、包装資材など）の不足や調達遅延が生じている場合 など

【製造トラブル】工場の設備・機器・システム問題で製造が停止している場合、工場の人員不足による影響で製造遅延が生じている場合 など

【品質トラブル】品質不良が判明し、出荷に影響が出ている場合、不良品の廃棄や回収を行っている場合 など

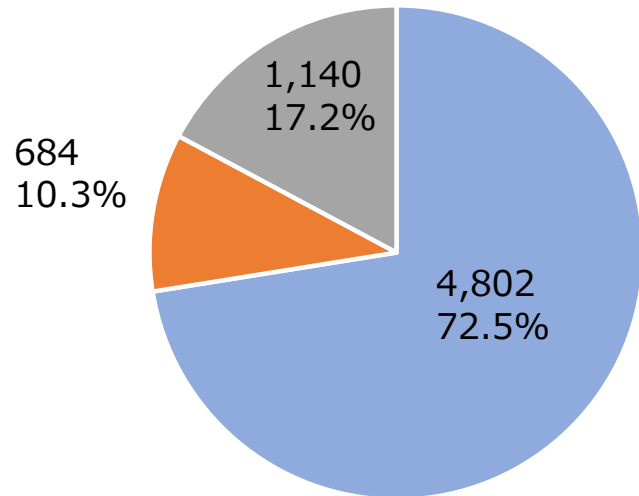
【行政処分】薬機法等関係法令違反により行政処分を受けたことがきっかけとなっている場合

【その他の理由】上記のいずれにも当てはまらない場合

成分規格で見た供給状況

- 1月調査の対象となっている全成分規格**6,626**の中、同一成分内において全ての品目が「通常出荷」の成分規格数は**4,802（72.5%）**である。
- 供給不安の成分規格において、「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格は**684（10.3%）**です。これらの成分規格中には、当該成分規格の「限定出荷」品目の「限定出荷」を解除することで成分規格全体が「通常出荷」となる可能性がある成分規格があります。

※「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格（イメージ）



- 全ての品目が「通常出荷」の成分規格
- 「通常出荷」品目の割合が50%超の成分規格
- 「通常出荷」品目の割合が50%以下の成分規格

（全体：6,626成分規格）

成分	規格	製品	製品区分	出荷量の状況	製造販売業者の対応状況
●●	5 mg錠	A	長期収載品	A.出荷量通常	①通常出荷
		B	後発品	A.出荷量通常	①通常出荷
		C	後発品	A.出荷量通常	①通常出荷
		D	後発品	A.出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）
		E	後発品	A.出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）

「通常出荷」が過半以上

「限定出荷」となっている品目（D、E）の「限定出荷」を解除することで成分規格全体が「通常出荷」となる可能性あり

製造販売企業の皆様へのお願い

製造販売企業の皆様へのお願い（１）

現在、製造販売企業様におかれましては安定確保にご尽力いただいている中ではありますが、依然として多くの医薬品で供給不安が続いています。各社におかれましては、現在の供給不安が解消するよう、引き続き、増産対応、限定出荷の解除、供給状況に関する最新情報の提供に努めていただきますよう改めてお願い致します。

2023年5月調査公表分より、製造販売企業の皆様向けに当該成分規格の「限定出荷」品目の限定出荷を解除することで成分規格全体として通常出荷となる可能性のある成分規格（※）につきまして公表させていただきます。リストのご確認、限定出荷解除のご検討をお願い致します。

※成分規格全体が通常出荷となる可能性のある成分規格リスト（2025年1月）（excel）

令和4年1月25日付厚生労働省医政局経済課長通知（医政経発0125第1号「医療用医薬品の供給不足に係る対応について」の別添 1 に係る医薬品の供給状況の調査について（調査協力依頼））において、製造販売する医薬品を安定的に供給することは一義的には製造販売企業の責務であることから、該当する成分規格を製造販売する製造販売企業は該当品目の供給の状況について自社のウェブサイト等において公表し、その旨を日薬連に報告するよう要請されております。また日薬連はそれらの情報をとりまとめ公表するよう要請されておりますので、ご協力をお願い致します。

製造販売企業の皆様へのお願い（２）

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の差異解消のお願い

- 毎月、日薬連「供給状況調査」をご提出いただく際には、必ず厚生労働省のHP上に掲載されている 医療用医薬品供給状況の自社品目の供給状況内容をご確認いただき、日薬連「供給状況調査」と差異がある場合は変更内容を厚生労働省にご報告ください。
- 日薬連「供給状況調査」の提出及び厚労省「供給状況報告」の際には、「⑰報告日／情報更新日」の記載日が最新の情報に更新されているか、今一度ご確認ください。
- 日薬連「供給状況調査」をご提出いただく際には、経過措置期限が切れた薬価削除品目など一覧に掲載の必要のない品目、あるいは新規薬価収載品目や製販企業に変更がある場合は日薬連「供給状況調査」提出先（厚生労働省が委託する事業者）にその旨をご連絡いただき、併せて厚生労働省にもご報告ください。その際は「⑤YJコード」と「⑥品名（承認書に記載の正式名称）」を必ずご報告ください。また、厚労省「供給状況報告」については薬価収載されてない医療用医薬品についてもお報告ください。
- 新規薬価収載品目が未発売の場合でも品目一覧には掲載する必要があります。ただし、未発売のため供給状況に関わる各項目の報告、記載は不要です。
- 次月の日薬連「供給状況調査」までの間に自社品目の供給状況に変更が生じた場合は、変更内容を必ず厚生労働省にご報告ください。

日薬連「供給状況調査」と厚労省「供給状況報告」の運用

	実施主体	報告／調査 頻度	対象品目	報告／調査 提出先	公表	備考
厚労省 「供給状況報告」	厚生労働省 産情課	随時	全ての医療用医薬品 (薬価収載されて いない品目を含む)	厚生労働省 産情課	逐次 ※1	
日薬連 「供給状況調査 (医薬品供給状況 にかかる調査)」	〔 日薬連 厚生労働省産情課 と連携 〕	月 1 回 (月末)	全ての医療用医薬品 (薬価収載品のみ)	厚生労働省が 委託する 事業者	月 1 回 (翌月 中旬)	調査は一定の 移行期間まで 継続

※1 開庁の前日（24時迄）に受け付けた報告を翌日15時を目途に厚生労働省HP上に公表

日薬連「医薬品供給状況にかかる調査」についての問合せ先

日本製薬団体連合会 担当：沼澤

TEL：03-3527-3154（受付時間 10:00～17:00、土日・祝日を除く）

E-Mail：survey220603@fpmaj.gr.jp